

## ○業界団体における具体的な取組み

大項目	中項目	対策	具体的な取組み		
			取組項目	令和4年度の取組み(実績)	令和5年度の取組み(予定)
若手の 人材確保	(1) 建設労働者の処遇改善	適正な賃金水準の確保	○ 適切な下請契約の締結と建設労働者の賃金水準の確保の周知徹底	・国からの関係通知について、会員企業への周知を徹底	・継続して実施
			○ 予定価格の抜本的な積算体系見直しの要望	・国及び県に対して要望活動を実施 ・四国地方整備局長要望(令和4年9月)、知事要望(令和4年10月)	・継続して実施
			○ 請負単価のアップへの取組み	・作業員年収確保のための単価アップ陳情	・継続実施
			○ 継続的な受注の確保への取組み	・週休二日制に向けた作業員の年収確保のための訴え	
		○ キャリアアップレベル申請の推進	・標準見積書におけるキャリアアップレベル3, 4の作業員の日額増額		
		社会保険等加入の徹底	○ 社会保険加入の徹底	・会員企業において社会保険加入率100%を維持	・継続して実施
			○ 一次下請け企業に対する下請け契約時の社会保険加入確認の徹底	・国県発注工事について、すべての下請に対する社会保険加入確認を実施	・継続して実施
	○ 建設業退職金共済制度及び建設共済保険への加入促進		・両制度の広報、建設共済保険の会員への個別説明等により加入を促進	・継続して実施	
	ダンピング対策の強化	○ 社会保険加入の徹底	・会員企業及び二次以降の取引先へ社会保険100%加入を要請		
			○ 社会保険加入優良企業の認定制度の実施に向けた要望	・国交省主導の専門工事業の企業評価実現の為専門工事業者ごとの施工能力見える化に取組	
○ 国等に対して社会保険未加入対策の厳正な実施の要望		・意見交換会 コロナ禍のため中止	・四国地方整備局との意見交換会実施予定 令和5年7月18日 13:30 パールガーデン		
週休2日制等休暇制度の充実	○ 標準見積書の活用に向けた取組み	・標準見積書の改訂を継続し、提出率の向上を図る			
		○ 低入札に対する罰則強化の要望、工事量確保の要望	・国及び県に対して要望活動を実施 ・四国地方整備局長要望(令和4年9月)、知事要望(令和4年10月)	・継続して実施	
	○ ダンピング受注廃絶の要望	工事量減少に伴うダンピング受注廃絶訴え	・継続実施		
	○ 週休2日制を前提とした工期設定の要望	・国及び県に対して要望活動を実施 ・四国地方整備局長要望(令和4年9月)、知事要望(令和4年10月)	・継続して実施		
働き方改革の推進	○ 全工事統一休業日の設定	・四国品確協が定める「統一休業日」を協力団体として実施	・継続して実施		
	○ 雇用改善に係る情報提供	・全国建設業協会からの雇用改善に係る情報について、周知を徹底	・継続して実施		
	○ 元下間における適正な工期設定の要望	日給制から月給制への移行推進 作業日数減少への対応	・継続実施		
(2) 建設労働者の労働環境の整備	現場の安全管理の推進(感染症対策を含む)	○ 長時間労働とならない適正な工期設定、工事施工の平準化及び工事関係書類の簡素化の要望	・国及び県に対して要望活動を実施 ・四国地方整備局長要望(令和4年9月)、知事要望(令和4年10月)	・継続して実施	
		○ 適正な工期設定の要望	週休二日を見込んだ適正工期確保の要望		
		○ 建設業労働災害防止協会との連携による安全教育・管理体制の徹底及び無災害会員に対する顕彰等	・建設業労働災害防止協会と合同で無災害会員企業に対し表彰を実施(令和4年12月) ・優秀会員 8社 ・5年以上連続無災害会員 6社 ・10年以上連続無災害会員 3社 ・20年以上連続無災害会員 3社	・継続して実施	
		○ 感染症対策の徹底	・国、県、全建等からの関係通知について、会員企業への周知を徹底	・継続して実施	
		○ 現場パトロールの定期的実施の促進	・建災防との連携による安全教育、定期パトロールの実施 ○令和5年1月10日 現場パトロール実施 高松第一高等学校 ○各組合の月例会での安全講話	・継続実施	

## ○業界団体における具体的な取組み

大項目	中項目	対策	具体的な取組み		
			取組項目	令和4年度の取組み(実績)	令和5年度の取組み(予定)
若手の人材確保	(2) 建設労働者の労働環境の整備	省力化・効率化等の推進	○ 適正な設計変更及び工期変更の要望	・県と建設業協会経営委員会との意見交換会を実施(令和5年2月)	・継続して実施
			○ 現場中心の工事検査及び関係書類の厳選、簡素化等工事検査制度の改善への提案	・働き方改革を進める上で必要な書類の簡素化等について、国及び県に対して要望活動等を実施 ・四国地方整備局長要望(令和4年9月) ・県と建設業協会経営委員会との意見交換会(令和5年2月)	・継続して実施
			○ 新技術・新工法の活用促進の提案	・国交省ネティス掲載の新工法活用促進	・継続実施
	○ ICT,i-construction,BIMなどの推進		・ICT,i-construction,BIMなどの勉強会実施(元請主導)		
	女性が働きやすい労働環境の整備	○ 女性が働きやすい現場環境の整備の促進	・女性の働きやすい現場環境の整備の促進を図ると共に、各種の助成金制度の活用を検討	・継続して実施	
		○ 女性が働きやすい現場環境の整備の促進	・長時間労働、出産・育児・介護休業、短時間労働等の女性の就労問題について検討を実施	・継続実施	
	多様な人材の確保	○ コレワーク四国との連携で若年層の確保を模索	・コロナ禍のため中断		
	(3) 建設産業への理解や関心の向上	イメージアップの推進	○ 新聞紙上でのイメージアップ広告、関係機関との連携によるバス見学ツアー、建設機械の操作体験等の実施	・土木の日(11月18日)にあわせて新聞紙上(2面)でイメージアップ広告を掲載  ・県と合同で多度津高校建築科2年生(令和4年10月)及び多度津高校土木科1年生(令和4年12月)と協会の若手技術者との意見交換会を実施	・継続して実施
			○ 高等学校等への出前講座の検討	・高等学校との意見交換会での意見等を踏まえて実施について検討	・継続して実施
			○ 地域への貢献活動の実施	・7支部・部会で地域への貢献活動を実施 ・道路、公園、海岸の清掃、献血、イベント(祭り)支援等	・継続して実施
		建設現場を体験する機会等の拡充	○ 高等学校等への出前講座の検討	○ 多度津高校出前講座 令和4年7月28日 建築科1,2年生12名 教諭3名 講師3名	・継続実施
			○ 高校生を対象としたインターンシップの拡大・充実の検討	・県内の建築・土木科で学ぶ高校生対象に2~3日間のインターンシップを実施(令和4年6月、10月、12月) ・2日間の実施をしている高校を3日間の実施に拡大する検討を実施	・継続して実施
○ 高校生を対象としたインターンシップの拡大・充実の検討		○ 匠の学舎事業所見学 令和4年4月13日 現場見学会開催 生徒16名 教師5名	・継続実施		
関係機関間の連携の強化		○ 予備自衛官採用の検討	○ 自衛隊での企業説明会への参加 令和4年9月15日 オークラホテル丸亀 午前、午後分散して実施50社	・継続実施	
女性の活躍の促進	○ 女性技術者が活躍できる環境づくりへの要望	・県に対して要望活動を実施 ・知事要望(令和4年10月)	・継続して実施		
	○ 現場等で活躍している女性技術者等の広報	・現場で活躍する女性技術者の数が少ないことから、広報の方法等について検討を実施	・継続して実施		
(4) 将来を見通すことができる環境整備	短期・中長期の公共事業見通しの確保	○ 地震・津波に対する海岸堤防等や老朽化施設等、社会資本整備促進の要望	・国及び県に対して要望活動を実施 ・四国地方整備局長要望(令和4年9月)、知事要望(令和4年10月) ・経済団体と連名で内閣総理大臣、自由民主党、国土交通省、財務省要望(令和4年12月)	・継続して実施	
		○ 発注の平準化及び施工の平準化の要望	・国及び県に対して要望活動を実施 ・四国地方整備局長要望(令和4年9月)、知事要望(令和4年10月)	・継続して実施	
	公共事業の安定的・継続的確保	○ 長期的、安定的な工事量確保の要望	・国及び県に対して要望活動を実施 ・四国地方整備局長要望(令和4年9月)、知事要望(令和4年10月) ・経済団体と連名で内閣総理大臣、自由民主党、国土交通省、財務省要望(令和4年12月)	・継続して実施	

## ○業界団体における具体的な取組み

大項目	中項目	対策	具体的な取組み		
			取組項目	令和4年度の取組み(実績)	令和5年度の取組み(予定)
若手の 人材確保	(4) 将来を見通すことができる環境整備	公共事業の安定的・継続的確保	○ 地元建設企業の受注機会の確保の要望	・国及び県に対して要望活動を実施 ・四国地方整備局長要望(令和4年9月)、知事要望(令和4年10月)	・継続して実施
		担い手確保の促進に向けた入札・契約制度の改善	○ 若年技術者等の活躍のできる環境づくりへの要望	・国及び県に対して要望活動を実施 ・四国地方整備局長要望(令和4年9月)、知事要望(令和4年10月)	・継続して実施
		生産性の向上	○ i-Construction及びBIM、CIMに係る情報提供 ○ 小規模工事においてもICTを活用できる積算基準見直しの要望 ○ VR、BIM等の最新技術を習得	・国、県、全建等からの関係通知について、会員企業への周知を徹底 ・国に対して要望活動等を実施 ・四国地方整備局長要望(令和4年9月) コロナ禍で未開催	・継続して実施 ・継続して実施 ・継続実施
若手の 人材育成	(1) 職業訓練の充実・活用の促進	建設産業と他機関との連携強化	○ 県立高等技術学校での駆体業者による出前講座 ○ 訓練機関との連携による研修の実施に向けた検討	○ 高等技術学校での出前講座(鉄筋+型枠) 令和4年1月31日～2月28日 建築システム科2年生9名 教諭1名 講師2名 ・「人材育成研究会」での職能給を細分化した成果を使い、新卒者の定着を図る	・継続実施 ・継続実施
		個別企業の枠を超えた共同訓練の実施	○ 建設業者による共同での職人育成活動への支援	・コロナ禍のため富士教育訓練センター閉鎖	・富士教育訓練センター再開で、積極活用
		安全教育への支援	○ 安全教育受講や足場組み立て等の資格取得に対する助成制度の周知 ○ 現場の安全管理の徹底のための社内教育(送り出し教育)の実施	・国の各種助成制度について、会員企業への周知を徹底 ○ 防災防との連携による安全教育の実施	・継続して実施 ・継続実施(※防災防事務局長交代のため今後の活動方針をすること)
	(2) 社内教育の促進	OJTへの支援	○ OJTカリキュラム整備の支援	○ 匠の学び舎アカデミーからのOJT受入 令和4年5月11日～7月1日まで 延べ24日 96名の受入	・継続実施(匠の学舎 令和5年4月16名入学予定)
		新規採用者等への職業教育の支援	○ 三田建設技能研修センターの活用 ○ 富士教育訓練センターの積極的な活用	・三田建設技能センターで新規採用者研修を実施(令和4年4月)※社会人としての常識・ビジネスマナー、安全教育等の研修(参加者9名) ・コロナ禍のため富士教育訓練センター研修中止	・継続して実施 ・継続実施
		資格取得等キャリア形成の促進	○ 資格取得講習会の開催 ○ 資格取得に対する助成制度の周知、各専門工事業体主催の勉強会の実施	・1級土木施工管理技士の受験準備講習会を実施(令和4年5月) ・2級土木施工管理技士の受験準備講習会を実施(令和4年8月) ・受講者数1級25名、2級49名 ○1級技能士受験勉強会の実施 学科試験勉強会 令和4年12月 計7回実施 実技試験(組立、施工図) 令和4年11月～ 計15回実施	・継続して実施 ・継続実施
	(3) 資格取得等キャリア形成の促進	技術者等への顕彰の実施	○ 若年優良建設従事者表彰の実施	・若年優良建設従事者表彰を実施(令和4年12月) ・受賞者21名	・継続して実施
		建設技能労働者のキャリアアップ	○ 建設キャリアアップシステムに係る情報提供及び加入促進	・情報提供及び会員の事業者登録の積極的推進	・継続して実施